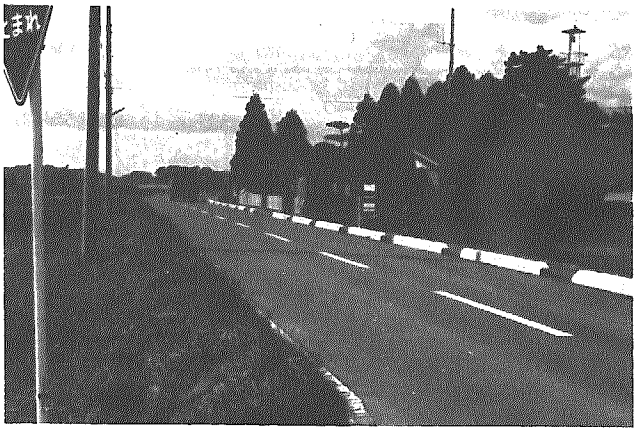
■広報いわむろ 第三三〇号 平成元年（一九八九年）十月一日発行（毎月一回一日発行） ■発行 岩室村役場 ■編集 総務課 ■新潟県西蒲原郡岩室村大字西中八六〇（〒九五三—〇一） ■☎〇二五六—八二—四一一一（代） ■印刷 北洋印刷㈱

シリーズ 20

# 今、新しい地域づくりの波

## 北野

■朝夕めっきり冷え込み、暖火の恋しい季節となりましたが、みなさん風邪などひいていませんか。ところで、今月の「おじゃまします——地域情報ネットワーク」は、紅葉が美しい多宝山を背景に秋の気配がたっぷり漂う北野地区におじゃましました。



北野地区をはしる広域農道9号線、いまや農作業、通勤のかなめ

ここ北野地区は、村の中央部に位置する集落で、戸数は二十一戸。その世帯が通称「表北野（九戸）」「裏北野（十二戸）」とに分かれており、この二つの集落から形成される珍しい地区です。それにもう一つ珍しいのが、同地区内に同姓の世帯が多いこと。表北野地区では山岸、萩野、中村といった姓で占められ、裏北野地区では堀越、樋口、八木といった同姓世帯が隣接するといった特異な地区でもあります。

「ここ北野は、二つの地区に分かれていますが、まとまりの点では他地区には負けません。戸数が少ないということもありますが、なんといっても、同姓が多いということでわかるように地区中で親せきみたいなもんですね」と地区内の様子を話す区長の堀越さん。

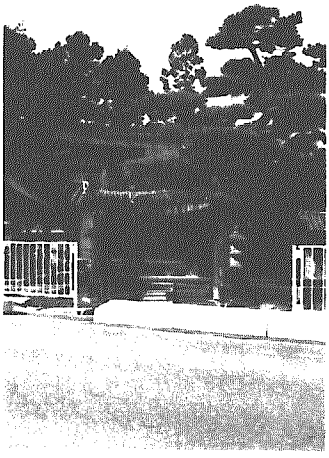
でも、そのまとまりの良さも、最近の兼業化で勤めに出る人も多くなり、ちょっと薄らいできているといいます。

「最近は、地区中で集まるという機会が本当に少なくなりました。でも、ここ北野では今でも古くから続く交流の場も残っています。その一つに、春秋に行う天満宮のお祭り。この時ばかりは、地区中で公会堂に集まり、みなさんで楽しみながら交流を深めています」と話す堀越区長さん。そんな北野、若い人は勤めの関係などで交流は少なくなったというが、その分お年寄りたちのゲートボールや婦人会などの活動はますます盛んのようです。

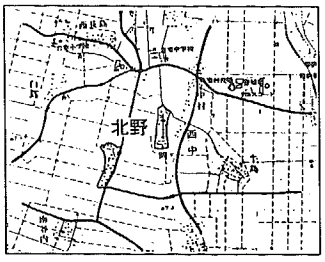
ところで、北野といえばみなさんもご存じのとおり、営農家がほとんどを占める純農村地区ですが、最近の社会構造の変化、若者の農業離れなどで、ここ北野地区も他地区にもれず後継者問題がクローズアップしてきました。「いま地区内で問題になりはじめているのが、やはり後継者問題ですね。北野でも兼業化が進み、若い人たちはほとんど勤めにでています。ですから、これからの農業は個人的営農から脱皮した地区ぐるみの協業化、組織化などを考えて行かなければならない時期にきていると思います」と地区の基幹産業である農業についてこうも話す区長さん。

北野区長
堀越暉一さん
（59歳）

今、厳しい農業情勢がここ北野地区にも押し寄せてきています。でも、区長さんの話の中から、厳しいからこそ、より一層地区内の団結を強め〝新しい地域づくり〟に取り組もうとする意気込みが感じられる北野地区でした。



村内では珍しい学問の神様北野天満宮




### 北野ミニデータ

人口と世帯（平成元年10月1日現在）

| 人口 | 男 | 女 | 世帯 |
|---|---|---|---|
| 125人 | 65人 | 60人 | 21世帯 |

## 〝秋の夜長を名曲と共に〟

### 第7回「音楽に親しむ夕べ」

毎年好評をいただいています「音楽に親しむ夕べ」が、ことしも開催されます。メニューは遠藤吉比古さん、早川文子さんのピアノ演奏ほか盛り沢山。それに今回は小林綾子さん（ソプラノ歌手）も特別参加。ことしもぜひ、家族そろっておでかけください。

■開催日 11月25日（金） ■会場 公民館講堂 ■開演時間 午後7時からです

プログラム

| | メニュー | 出演者 | 曲目 |
|---|---|---|---|
| 第一部 | ピアノ演奏 | 早川文子 | 「ピアノのために」より「プレリュード」 |
| | 合唱 | 岩室コーラスクラブ | 海辺の小さな町、秋はしゃも猫のように、「ふたりだけの展覧会」より花屋のウインド |
| | ピアノ演奏 | 遠藤吉比古 | フランス組曲第5番（バッハ作品） |
| 第二部 | 独唱 | 誉司 小林綾子 | 六つの子供の歌 |
| | ピアノ演奏 | 遠藤吉比古 | バラード第1番、第2番、ワルツ第14番（ショパン作品） |
| | 合唱 | 岩室コーラスクラブ | 里の秋、山の子供、ふるさと |
| | 全員合唱 | （指導）早川文子 | ふるさと |